

1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入に向けた調査研究について

1 趣 旨

1人1台タブレット端末を活かし、児童生徒の健康・精神状態からいじめ・不登校問題の未然防止を図るとともに、データの収集を行うことで、児童生徒の健康・精神状態といじめ・不登校の関連性の分析を行い、今後のいじめ・不登校等の対策に役立てる。

2 対 象

県立学校（特別支援学校を含む）の児童生徒

3 活用するアプリ

LEBER

4 実施の流れ

（こころのチェックの活用）※別紙1

- ① 児童生徒は「体温チェック」から、現在の自身の心の気分及びコメントを入力する。
※ 入力任意とし、24時間入力することができる。
- ② 児童生徒の心の気分の状況に不安な点を把握した場合、またはコメント欄に相談の希望があれば、担任等が面談を実施し、スクールカウンセラー等と連携して支援方法等を検討する。

（こころの健康観察の活用）※別紙2

- ① 定期的に、以下の（1）または（2）の「こころの健康観察」を実施する。
 - （1）「チェック項目25問」（気持ちや気分、人間関係、集中力、行動）
 - （2）「チェック項目13問」（気持ちや気分）
- ② 「こころの健康観察」の結果から、支援が必要な児童生徒には担任等が面談を実施し、スクールカウンセラー等と連携して支援方法等を検討する。
- ③ 「スクールカウンセラーの予約希望」にチェックがあった児童生徒については、教育相談担当者に報告し、スクールカウンセラーにつなげる。

（その他の機能活用）

- ・ 「アンケート配信及び自動集計」など、各学校でアプリ「LEBER」の他機能を活用して、いじめ・不登校の未然防止等の充実を図ることとする。

5 実施における留意点

- ・ 実施校については、実施日から令和7年2月28日（金）までの実績を別添の様式にまとめて、令和7年3月13日（木）までに県教育委員会の担当に提出すること。